

鹿児島県警察の活躍する女性たち

特別対談 / お互いのこと、どう思っています…?

先輩×後輩

ぶっちゃけ座談会



先輩

後輩

ぶっちゃけ!

鹿児島県警では仕事と家庭を両立しながら活躍する女性が数多く在籍しています。ここでは、刑事部鑑識課で勤務する先輩・後輩のお二人に、鹿児島県警で働く女性の率直な本音を語ってもらいました。

Q1. ぶっちゃけ、お互いの第一印象はどうでしたか？今はどんな存在ですか？



先輩 同じ部署に配属される前から良い印象は聞いています。実際は一緒に動いてみる前評判通りの優秀でした。子育ても大変な中、弱音も吐かず働いていて本当に立派だなという印象でした。

後輩 私は今年の4月に育児から復帰し、初めに先輩にお会いしました。当初は未経験の業務に不安もありましたが先輩が丁寧に優しく教えてくださりとても働きやすく、心強く感じました。

先輩 私自身も育児を経験しているのでも、復職時の不安はよくわかります。そんな中でも、「本当に未経験？」と感じるほど丁寧な指導をしてくださって、とても頼

もしいです。私は同じ間違いを繰り返すタイプなのですが、彼女は決して同じミスはしません。真面目で気が利くところが多く、見習いたいくらいです。指導する立場ではありますが、今では頼りっぱなしです。もっと周りに甘えてほしいくらいです(笑)

後輩 そんなことはありません。日頃からお気遣いいただき、甘えさせてもらっています。下の子がまだ1歳なので時短勤務を利用していますが、子どもが熱を出した時も「代わりにやっておくよ」と声をかけてくださり、とても頼りやすいです。仕事以外でも何でも相談できる先輩で、活用できる子育て支援制度を教えてくださいました(笑)

ぶっちゃけ / 採用スタッフも2お人の話に興味を持って★



女性が働きやすい職場環境

WOMEN IN ACTION



ぶっちゃけ

旦那の愚痴も聞いてもらってます(笑)

ぶっちゃけ

もっと周りに甘えてほしい…(笑)

Q2. 鑑識の仕事を目指したきっかけはありますか？

後輩 ドラマの鑑識作業を見て、カッコイイと思ったのがきっかけです。警察学校の教養でその楽しさを実感し、交番勤務の時に鑑識の勉強をさせてもらいました。希望していた鑑識係に配属されたときはとても嬉しかったです。

先輩 私は鑑識勤務がきっかけです。島では大きな事件・事故があると鑑識員で対応しなければなりません。鑑識担当がいなくなると現場に入ることができませんし、捜査が進みません。初動における鑑識の重要性を実感し、事件解決に直結する仕事だと感じて鑑識係を志望しました。後輩さんは、鑑識のどんなところで働いているんですか。

後輩 現場で採取した資料が犯人と結びついたり、自分の仕事で被疑者の逮捕につながることもあると思います。そのやりがいと責任感が鑑識の魅力だと感じます。先輩

はどうですか。
先輩 現場に到着し、段取りを考える段階から手がかりを探みたいという旨の強い思いを感じます。私たちが早つけた証拠によって事件を解決に導き、困っている人を助けることができます。その熱意をチームで共有できることに大きな魅力を感じますね。

Q3. 仕事以外ではどのようなお話をされますか？

先輩 本当に何でも詳しく、スマホのアプリもいくつ教えてもらったことがわかります。若い世代から学ぶことは多いです。
後輩 先輩に喜んでもらえて、私もうれしいです。

後輩 もっとも情報収集が得意なので、推しのゆるキャラグッズの取寄情報などもお互いで共有しています。



オフショット★

Q4. 今後のキャリアについて

後輩 今は子どもが小さく、イレギュラーに伴う業務は難しいのですが、落ち着いたらまた現場に出たいと思っています。そのためにも、現在の業務を通して成長していきたいと思っています。

先輩 現場での業務は日々変化があり刺激的ですが、鑑識の仕事はそれだけではありません。どの業務も責任のある重要な仕事です。他の鑑識係の職員が少しでも働きやすいように、環境づくりに努めたと思います。二人とも仕事と家庭を大切にしながら、お互いについていける関係でいられたら最高ですね。

